

# 教師および教師志望学生の教育意識について

谷田貝公昭 ○中山光頭 北郷朱美  
 (京浜女子大学) (大和町立西鶴岡小学校) (南ヶ丘立保育研究所)

1. はじめに  
 子どもにとって、教わる教師から受ける影響は  
 大なるものがある。それゆえ、教師の果す役割に  
 ついて、大勢の人々が期待と関心をよせていると  
 いえる。亦、人々、教師についている者にとって、  
 この仕事の重要性については、十分承知しているこ  
 とであらうし、人々の期待に答えるべく努力して  
 いるといえる。

しかし、教師という職業に対する考え方は、個  
 々人のふかれている立場や、教師になるまでの過  
 程、現場での経験によって、違いがあるものと考え  
 られる。

そこで、本研究においては、現職の教師やこれ  
 から教師になろうとする学生において、どのよう  
 な意識のちがいがあるか明らかにしようとするもの  
 である。

## 2 調査方法

調査期日 昭和53年 9月下旬～11月下旬

調査の対象 東京都下の私立大学生  
 神奈川県下の私立大学生  
 神奈川県下に勤務する教師

## 3 調査内容

### (1) 教師の社会的地位

- ・教師の一般的社会的評価
- ・教師の待遇による社会的地位
- ・学校段階別による社会的評価

### (2) 望ましい教員養成のあり方

- ・望ましい教員養成期間
- ・在学中に習得すべき望ましい知識・技能

### (3) 教師志望の動機

- ・教師を志望した時期
- ・教師を志望する動機となった人物

## 4. 回答者の属性

表-1 性別

	N
男	90
女	501
計	591

表-2 教師学生の別

	N
教師	93
学生	498
計	591

### 表-3 学校種別

	N
4年制	371
短大	195
教員養成	25
計	591

表-4 教職に接近する者と取得(見込み)者

	N
父	70
母	63
兄	18
姉	37
祖父	36
祖母	18
おじ	140
おば	104
該当なし	304
計	790

表-5 所属する学科(学)

	N
児童学科	195
初等教育科	86
保育コース	86
通信教育科	124
幼稚園教員養成所	47
計	498

## 5 調査結果

### (1) 教師の社会的地位 表-7 (%)

教師という職業を尊敬されているか	学生	教師	男	女
大変尊敬されている	12(2.4)	0(0)	1(1.1)	11(2.2)
尊敬されている	246(41.8)	25(26.9)	34(37.8)	237(41.3)
ほとんどよい	193(32.8)	44(47.3)	27(30.0)	210(41.9)
あまり尊敬されていない	43(7.3)	21(22.6)	23(25.6)	41(8.2)
全く尊敬されていない	4(0.7)	2(2.2)	5(5.6)	1(0.2)
NA	6(1.0)	1(1.1)	0(0)	1(0.2)

4年制	短大	養成所	計
4(1.1)	8(4.1)	0(0)	12(2.0)
57(41.8)	107(54.9)	9(36.0)	271(45.9)
156(42.0)	67(34.9)	14(56.0)	237(40.1)
49(13.2)	13(6.7)	2(8.0)	64(10.8)
6(1.6)	0(0)	0(0)	6(1.0)
1(0.3)	0(0)	0(0)	1(0.2)

教師という職業は、表-7に示してあるとおり、45.9%の者が尊敬されていると答えている。そして、41.9%の者がほとんどよいと回答している。

これを各属性とはべてみると、尊敬されていると答える者が、学生、女性、短大生におおく、総合平均より高い比率を示している。また、あまり尊敬されていないと答える者は、教員、男性、4年制において、総合平均より高くはっている。

次に、表-7に示したように、社会は教師に十分な待遇を与えているかという問については、39.6%の者が十分な待遇と答えている。教師の待遇に対して一応の満足を示している者は、学生、女性、短大生とっており、十分ではないと不満をもっている者は、教師、男性に多い傾向が見られる。また、各学校段階別の社会的評価については、

表-9に見られるとおり、75.0%のものがあがりがあると答えている。

このことから、教師の社会的地位は高い傾向が見られたが、一生教師という仕事を続けると思われる教師、男子性、4年制の学生は、きびしい見方をしているといえるだろう。

表-8

社会は教師に十分な尊重を与えているか	学生	教師	男	女
十分すぎる待遇	17 (3.4)	0 (0)	1 (1.1)	16 (3.2)
十分な待遇	213 (42.8)	21 (22.6)	25 (27.8)	209 (41.7)
何ともいえない	131 (26.3)	21 (22.6)	22 (24.8)	130 (25.9)
十分な待遇とはいえない	128 (25.7)	45 (48.8)	35 (38.9)	138 (27.5)
全く十分な待遇である	8 (1.6)	4 (4.3)	7 (7.8)	5 (1.0)
N	50	92	40	52

4年制	短大	教職	計(%)
7 (1.9)	10 (5.1)	0 (0)	17 (2.9)
143 (28.5)	84 (43.1)	7 (28.0)	234 (69.6)
89 (24.0)	56 (28.7)	7 (28.0)	152 (25.7)
120 (32.3)	84 (22.6)	9 (36.0)	213 (29.3)
11 (3.0)	0 (0)	1 (4.0)	12 (2.0)
1 (0.3)	1 (0.5)	1 (4.0)	3 (0.5)

各学段段階での社会的地位の高さ	計(%)
高い	83 (4.0)
やや高い	43 (7.3)
ある	461 (78.0)
N	207

(2) 望ましい教員養成のあり方

幼稚園の教師となるために必要と考える年数は、表-10に示したように、52.0%の者が、3~4年の教育期間が必要と考えている。さらに、短大生と4年生の学生を比べてみると、4年生の学生の68%は、3~4年と考え、のこりの学生は、1~2年か5年以上と考えているのに対し、短大生は、1~2年と3~4年とにほぼわかれている。表-10

高校卒業後何年間の教育	4年制	短大	計	(幼稚園の場合)
1~2年	62 (16.7)	81 (41.5)	143 (28.5)	
3~4年	222 (59.0)	97 (49.7)	319 (62.0)	
5~	66 (17.8)	11 (5.6)	80 (13.5)	
N	371	146	517	

表-11

教職につく以前に習得すべきと思われる知識・技能	4年制	短大	計
教育学・教育心理の教育の原理的・歴史的知識	6 (1.6)	4 (2.1)	10 (1.9)
子どもの発達や学習の仕方に関する知識・技能	232 (62.5)	133 (68.2)	365 (65.0)
教育法規や学校の管理・運営に関する知識・技能	5 (1.3)	2 (1.0)	7 (1.2)
保育の方法や教材の指導法に関する原理的知識	90 (24.3)	34 (17.8)	124 (24.8)
保育の内容や教材の学問的知識	9 (2.4)	11 (5.6)	20 (3.8)
高度の一般的知識	4 (1.1)	4 (2.1)	8 (1.4)
N	371	146	517

次に、将来幼稚園の教師になる者にとって、教職につく以前に習得すべき知識・技能はどれかという問に対しては、表11に示すとおり、65.0%の者が子どもの発達や学習の仕方に関する心理学的知識や技術をあげている。これを、短大生と4年制の学生で比べてみると、短大生の方が他の項目へのばらつきが少なく、心理学的知識や技術に対する比率が高くなっている。

以上のことから、幼稚園の教師になるためには、3年~4年の期間勉強し、心理学的知識や技術を身につけることをのぞんでいると考えられる。

(3) 教師志望の動機

教師志望の時期については、表-12に示してあるとおり、小学生の頃の28.1%がもっとも高い。しかし、高校生の頃が25.9%、高校卒業後が23.7%となっている。このことから、教師を志望する

表-12

教師志望の時期	計(%)
小学校入学以前	13 (2.2)
小学生の頃	166 (28.1)
中学生の頃	112 (19.0)
高校生の頃	153 (25.9)
高校卒業後	140 (23.7)
N	597

表-13

教師を志望する人物	計(%)
父母	99 (16.8)
兄弟	11 (1.9)
幼稚園の先生	20 (3.4)
小学校の先生	156 (26.8)
中学校の先生	52 (8.8)
高等学校の先生	44 (7.4)
現在在学中の先生	4 (0.7)
その他	50 (8.5)
特になし	150 (25.4)
N	597

時期が、小学生の頃、大学を志望しようとする頃、教員を養成する機関に入っている時の3つに分けられるだろう。

次に、教師を志望する動機になった人物はどのう問に対する回答が表-13であるが、26.4%と小学校の先生をあげたものが最も多く、次には、25.4%のものが特になしと答えており、第3位に父母がきている。

早い時期に教師になる者には、たぶん、小学校の先生の影響を受けてであろう。また、教師を志望する者が父母からの影響が少なかったことは以外であった。高校生になってから教師を志望しようとする者は、自分の意志で決めるというこなのであろうか。

4. まとめ

全体的に、教師と教師志望学生のあいだに意識の相違が見られた。さらに、男女の相違、4年制の学生と短大生の相違も見ることができた。